



けやき

明郷小学校だより

2022年2月4日

学校の教育目標 みとめあい まなびあい たくましく活動する 明郷の子
～ 進んでつながる子 進んで話し合い発表する子 進んでやりぬく子 ～



北舎4階から開発市街地を眺める

「わからないこと」、「できないこと」が、恥ずかしいことではなく 「やろうとしないことが恥ずかしいこと」と伝えたい

校長 梅田 貴昭

1年は、生活科の学習で昔遊びの一つとしてコマ回しを行っています。多くの子がはじめはうまく回せません。取組の中で、何度も何度もひもの巻き方や回し方を工夫しながら取り組む姿、近くの子に聞いたり相談したりする姿、すぐに「できない」と投げ出すなど、様々な姿が見られます。



他の学習や活動の中でも、すぐできる子、少し練習するとできる子、何度も取り組むけどうまくいかない子などの差があります。そんなとき、子どもは、知識や技能だけでなく、粘り強く取り組む力、教師や仲間の助言を素直に受け止め真面目に努力する姿、まわりの子に聞いたり相談したりしながら解決するコミュニケーション力、できない子に優しく教える姿など、これから生きていくために大切な力（非認知力）を身に付けていることを感じます。学校は、間違えてもいい所、失敗を繰り返しながら成長する所です。「学ぶ」は「まねる」から、「習う」は「慣れる」からだと聞いたことがあります。1年担任と話していたとき、「遊びの中に学びがたくさんあり、それが非認知力の育成に大きく影響している」がありました。私たち大人は、できる、できないだけでなく、学習や物事に向かう姿を見て、その時々に価値付けていきたいものです。



2年図工「カッターナイフの使い方」、仲間との意見交流



3年体育「台上前転」



5年家庭科「ミシンの使い方」

保健委員会「感せん予防アイテムをゲットしようキャンペーン」

1月に保健委員会が、児童自らが感染予防を意識し、進んで取り組む姿をつくろうとキャンペーンを行いました。学級ごとに感染予防標語を考え、一週間をかけ、感染予防の基本（健康チェックカードの記入、ハンカチ・ハナカミはポケットの中に、20分休みと給食前の30秒手洗い、鼻まで覆うマスク、手洗い等は離れて並び）を達成し、アイテムを獲得する取組です。子どもたちは楽しみながら感染予防に取り組みました。



児童玄関に掲示された取組の標語と取組表

学校においては、引き続き感染予防に配慮しながら、教育活動を継続するように努めています。家庭・地域でも、「正しく知る」、「正しく怖れる」、「正しく対応する」を心がけ、感染予防をお願いします。また、感染がまん延している状況です。誰が感染してもおかしくありません。相手を思いやる心を持ち、コロナ・ハラスメントのない社会づくりに一人ひとりが努めましょう。

